



さちこ
松山 幸子 さん (39)

まく ひと しごと
枕崎 × 人 × 仕事 No.22

枕崎市かつお公社 / 立神本町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。今回は、枕崎市かつお公社を取材しました。



かつおのまち「枕崎」で鮮度こだわりの、鰹の刺身、タタキをはじめ、鰹・鮪製品を全国に販売している枕崎市かつお公社。今回はかつお公社で店舗販売兼デザイナーとして勤務する松山幸子さんを取材しました。

坊津出身の松山さんは、南さつま市の小中学校、高校を卒業後に歯科衛生士を養成する専門学校へと進学し、歯科衛生士として働き始めました。その後、川辺にあった仏壇用品などを制作する会社に勤務し、そこでデザインを学びました。6年前からかつお公社で働き始め、店舗販売を担当する傍ら、写真を加工し、ネット通販で使用する販売写真の作成も手掛けるようになりました。「写真の加工を行う時は、立体感が出るように心が

けている」と話す松山さん。初めは写真加工の技術もありませんでしたが、分からないことはインターネットなどで調べながら勉強し、今では光の加減まで調整するほどの技術を身に付けました。また、自社にデザイナーがいることで、速さと納得したものが作れるというかつお公社の強みにもなりました。その写真は市のふるさと納税サイトでも使用され、ふるさと納税の寄附額増加にも貢献しています。

また、そのデザイン力を生かして、去年のはじめには観光客向けに「かつぞうくん」「かつのすけくん」「おかつちゃん」の3つのオリジナルのキャラクターをデザインしました。現在ではかつお公社のオブジェとして設置され、壁画やかつお公社のトラックなどにも描かれ、インスタ映えを狙う観光客にも人気だそうです。

最近では新型コロナウイルス感染症も落ち着いているため、県外からの多くのお客さんがかつお公社を訪れるようになったと話します。松山さん、デザインも好きだけど接客をしてお客さんと話をするのが楽しいという松山さんは「コロナが落ち着いてきたので、たくさんのお客さんに来てもらえれば」と話します。

文化祭で『リズムなぎなた』が披露されました

11月5日に開催された第75回別府中学校文化祭で、なぎなたの技や所作を音楽に合わせて行う『リズムなぎなた』が披露されました。2年生の15名がリズムに合わせて軽やかになぎなたを振る、観客を魅了しました。



障害者スポーツの体験授業がありました

11月8日に枕崎高校で燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会の「出張授業」が行われました。鹿児島県国体・全国障害者スポーツ大会局では、広報活動の一環として県内の小・中・高等学校を対象に実施しており、枕崎高校では、全



国障害者スポーツ大会競技種目であるボッチャ、アキュラシーの2種目と車いす競技のスラロームの計3競技を15名の生徒が体験しました。

プロ選手と自転車を通して交流しました

11月23日に鹿屋市を本拠地として活動するプロサイクリングチーム「シエルブルー鹿屋」によるキッズ・サイクリススポーツ教室が開催されました。市内の小学生19名が参加し、黒川監督の講話をはじめ、プロ選手の実技指導や火の神公園までの実走など、自転車をさらに深く理解する充実した教室となりました。



南浜館の臨時休館
期間：11月29日(月)～1月31日(月)

スポーツ・文化イベント情報

南浜館
開 9:00～17:00
※入館は16:30まで
休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998



今月の担当は
りっか隊員です!



新年明けましておめでとうございます。地域おこし協力隊の篠塚立夏です。ついに任期満了まで残り3カ月。後悔のないよう、思いきり楽しんで過ごしたいと思います。皆さまにとっても私にとっても、よりよい1年になりますように!

地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊
が
行く!

後継者育成インターン視察へ
先日、福岡県東峰村で行われた「小石原焼・高取焼職人後継者育成インターンシップ」を視察しました。これは、「ニッポンの手仕事を残していく」ことをミッションとする企業が県の「伝統産業マッチング支援事業」を委託され、地元産の窯元とタッグを組んで行なったものです。枕崎にも巧みな技術で素晴らしいものを生み出す職人さんが大勢いますが、後継者不足問題から目を逸らすことはできません。そこで、実際に後継者育成に取り組んでいる事業を見てみたいと思い、今回の視察を申し入れました。

東峰村には約50軒の窯元がありますが、そのうち15軒ほどが後継者不足に頭を抱えています。そんな中、世界的にも有名な窯元が小石原焼・高取焼の魅力を伝える役目に名乗りを上げ、通常業務と並行して濃密なプログラムづくりに尽力。それに応えるように、参加者は陶芸やデザインを専攻する学生たちが全国から16名も集まりました。

インターンシップの内容は、工房見学や制作体験はもちろん、直営店での片付けや仕分け作業、陶器組合青年部との座談会、村職員や先輩移住者との移住・就職に関する座談会など、とても充実したものでした。現役の職人さんから技術を学んだり、

ものづくりへの思いを直接聞くだけでなく、東峰村での暮らしについても理解を深めた参加者たちは、非常に有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

第一の目的は後継者を誕生させることです。まずは仕事とまちの魅力を知ってもらい、関係人口になってもらうことに大きな意味があると感じました。枕崎でもこういった取り組みが実施されるのいいなと思います。

枕崎ことばの冊子を鋭意制作中
私は関東育ちのため、方言とは縁遠い生活を送ってきました。九州に移住してきた当初、周囲の人が当たり前のように方言を話しているのを聞いてとても興奮し、同時に羨ましささえ感じたのを覚えています。九州の南端に位置し、ある意味閉ざされた環境で発達した枕崎のことばは非常に独特で魅力的です。しかし残念ながら話者は着実に減り、特に子どもたちにはほとんど馴染みがなくなってしまうのが実情。そこで、地元枕崎のことばに興味を持つきっかけになるようなフリーペーパーの制作に取り組みしています。インタビュー等にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。1月中には印刷して、市内で配布できたらと考えています。見かけたらぜひお手に取ってみてくださいね。

**コロナ復興
ぐるっと枕崎スタンプラリー**

1.31
まで

枕崎には美味しいグルメが盛りだくさん! 枕崎をぐるっと観光して豪華賞品をゲットしよう。
抽選で総額250万円相当の豪華特産品が当たります。今年はスマートフォンからも参加できます。もう台紙を忘れる心配はありません!
店舗一覧は特設サイトでチェック! まだ行ったことがないお店にも足を運んでみてくださいね。

期間 1月31日(月)まで
参加店舗数 全72店
ルール
スタンプを3つ集めて郵送またはモバイル専用フォームから応募してください(必ず1つは飲食店)。
当選発表
賞品発送をもって当選者発表とします(2月中旬)。
問合せ
枕崎市観光協会(水産商工課観光交流係内) TEL76-1668

▲特設サイト